

## 北海道浦河地方における *Metaplacenticeras subtilistriatum* (白亜紀アンモナイト) の産出層準

蟹江 康光\*

Geological occurrence of Late Cretaceous ammonite,  
*Metaplacenticeras subtilistriatum*, in the Urakawa  
area, southern-central Hokkaido

Yasumitsu KANIE\*  
(With 1 text-figure and 1 table)

*Metaplacenticeras subtilistriatum* (JIMBO) is a well-known index of Late Cretaceous ammonite. The geological occurrence of this species is uncertain except for the Teshio Mountains. Recent study shows that this species occurred in Member U4 of the Urakawa area upon Member U3 comprising the *Inoceramus (Sphenoceramus) schmidti*—*Canadoceras kossmati* zone (Middle Campanian). Therefore, the age of Member U4 containing *M. subtilistriatum* can be assigned to Late Campanian. These data are in harmony with those of the Teshio Mountains and the Soya area in Hokkaido and the Asan Mountains in Shikoku.

*Metaplacenticeras subtilistriatum* (JIMBO) は、白亜紀後期のカンパニアン階上部層から多産するアンモナイトであるときれてきた。本種は、従来より北海道北西部、天塩山地の佐久地域 (MATSUMOTO, 1953; 高橋, 1959) と遠別地域 (JIMBO, 1894, p. 171, pl. 17, fig. 1) から産出が知られていた。しかし、隋伴化石が乏しいことから、その地質時代や生息環境などについては不明な部分が多かった。松本 (1981a, b) は最近、上記の2地域に加え宗谷地域・浦河地域ならびに四国の阿讃山地 (坂東ほか, 1980; MATSUMOTO *et al.*, 1980; 1981) の資料も加えて *M. subtilistriatum* 帯のメガ化石を表示し、微化石との対比にも言及した (松本ほか, 1981)。松本 (1981b) は、この報告のなかで、浦河地域の月寒川上流から同種の産出を報告することによって、蟹江 (1966) の層序と地質図に疑問を付した。著者は斎藤 登氏の協力を得て地質層序の再調査を行った結果、*Metaplacenticeras* の産出層位は *Inoceramus (Sphenoceramus) schmidt*—*Canadoceras kossmati* 帯に対比される U3 層の上位にのる U4 層の中部にあることが判明した。ここでは *M. subtilistriatum* 産地付近の改訂地質図を示して、従来の層序の改訂を行う。

### *Metaplacenticeras* 含有層の記載

月寒川上流地域は浦河駅の北東部に位置し (第1図)、従来の地質図 (MATSUMOTO,

\* 横須賀市博物館 Yokosuka City Museum, Yokosuka 238, Japan.  
原稿受理1982年9月3日, 横須賀市博物館業績第304号。

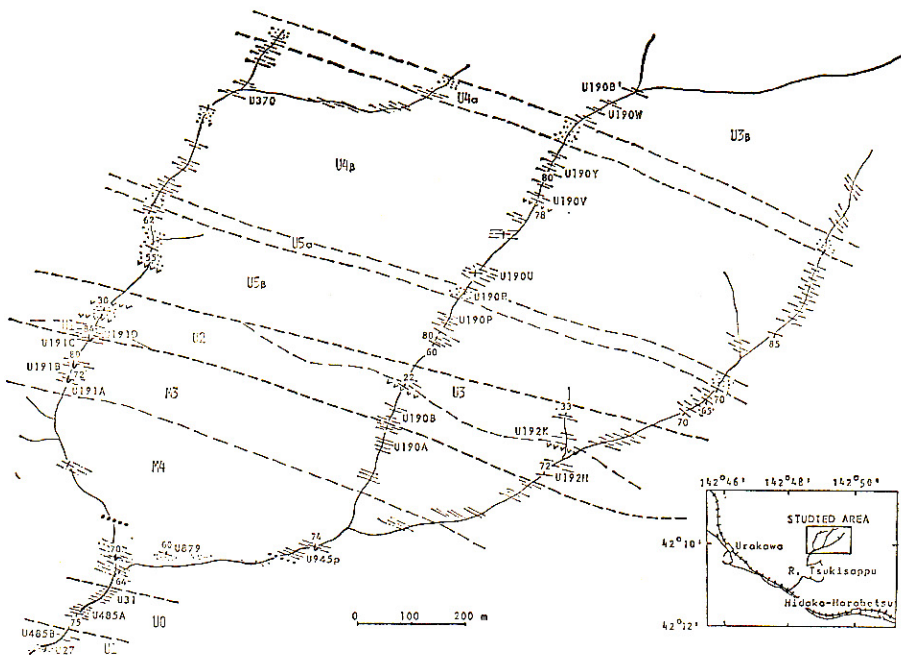


Fig. 1. Geological route map of the upper course of the Tsukisappu River. M3 and M4 are the members of the Middle Yezo Group. U0, U1...U5 and U5 are the members of the Upper Yezo Group.

1942, p1, 18; 蟹江, 1966) 上で上部蝦夷層群の標準層序が観察できるとされてきた地域である。すなわち蟹江 (1966) の U0, U1, U2...U7 層が整然と南方上位に配列しているとされてきた: U0 (≒コニアシアン), U1 (≒サントアン), U2 (下部カンパニアン, U3~U6 (中部カンパニアン), U7 (マストリヒシアン)。その後の調査で, U0 層の下半部は M3 層 (セノマニアン~チューロニアン) に属するもの (TAKETANI, 1982, fig. 4) であることが判明し, U6 層は U2 層と同層位のものであることから削除し (蟹江ほか, 1981), U7 層は函淵層群の H1・H2 層と改められた (蟹江, 1981)。

今回, U4 層の Loc. U370p から *Metaplacenticerias subtilistriatum* が発見されたことは, U4 層が上部カンパニアン階に属するものであることを示唆している。また現地での再調査によって U6 層から多産するとされた *Inocerams (Sphenoceramus) schmidti* (中部カンパニアン) は *I. (S.) orientalis orientalis* (下部カンパニアン) に再同定されて, 断層をはさんだ南側に U2 層を中心に U1~U3 層が繰り返して露出することが判明した。その南方の上部蝦夷層群の U0 層の分布地域の一部は, アンモナイト, 有孔虫・放射虫化石 (TAKETANI, 1982, fig. 6) の産出により, セノマニアン~チューロニアン階に属することが明らかとなったので, U0 層の一部を M3・M4 層に対比を改める。

改訂されたルートマップ地質図を第1図に示し, この付近の産出化石リストとして本報告では軟体動物のみを第1表に示す。

**U3β層** *I. (S.) schmidti* をシルト岩中に産し, 従来から中部カンパニアンは対比されてきた。層厚 250~270 m。

Table 1. A list of the Late Cretaceous fossils from the upper course of the Tsukisappu River. Locality number has a prefix "U".

	M4	U0	U1	U2	U3	U4	U5
"Anisomyon" giganteus (SCHMIDT) (type A')					192kp		
Inoceramus (Platyceramus) cf. amakusensis NAGAO & MATSUMOTO				485B			
I. (Sphenoceramus) schmidti MICHAEL					190Wp		
I. (S.) orientalis orientalis SOKOLOV					192H,K		
I. (Endocostea) sp.						190Yp	
Lucina (Myrtea) ezoensis NAGAO						190B'p	
Nanonavis saghalinensis (SCHMIDT)			485A				
Tetraconites cf. popetensis (YABE)						190B'p	
Scaphites planus YABE	945p						
Otoscapites puerculus (JIMBO)	945p						
Desmophyllites diphyloides (FORBES)						370p	
Hauericeras angustum YABE			485A				
Patagiosites sp.							190Pp
Canadoceras multicostratum MATSUMOTO					190Wp		
C. sp.					190B'p		
Kossmaticeratid						370p	
Metaplacentceras subtilistriatum (JIMBO)						370p	
Collignoniceras wollgari (MANTELL)	945p						
Didymoceras sp.						370p	
Baculites sp.						370p	

U4 $\alpha$ 層 中～粗粒の凝灰質砂岩である。この砂岩層の出現をもって U4 層の基底とした。化石は未発見。層厚 0～50 m。

U4 $\beta$ 層 厚さ 300～400 m のシルト岩よりなり、中部に凝灰質砂岩や細粒凝灰岩をほさむ。Loc. U370p はこの砂岩層より下位にあり、石灰質ノジュール中から *M. subtilistriatum* をまれに産する。Loc. U370p 付近のノジュールから *I. (Endocostea) sp.* を、アンモナイトでは *Didymoceras sp.*, *Kossmaticeratidae sp.*, *Baculites sp.* が採集されている。松本 (1981b) の Loc. U5016 (*M. subtilistriatum* の産地) もこの近くである (松本, 私信)。また松本ほか (1981b) は Loc. U370p 付近の U5010 から *Haprophragmoides sp.* や *Silicosigmoilina futabaensis* などの底生有孔虫を見出したが、時代決定は困難であるとした。MATSUMOTO (1942, p. 269) は、月寒川の西方、西幌別の小沢 Loc. U340p から *M. cf. subtilistriatum* を報告したが、転石であったため、産出層序を確認することができず地質図上に反映するにいたらなかった。U340p の化石は、今回、蟹江の U4 $\beta$  層より由来した転石を解釈することを矛盾なく説明できる。

U5 $\beta$ 層 U5 $\alpha$  層の上位にあり、U4 $\beta$  層より砂質である。上部は衝上断層で切られている。層厚は 120 m 以上。本層の Loc. U190Pp から *Patagiosites sp.* を産した。この化石は、上部カンパニアンからマストリヒシアンを示すとされている (ARKELL *et al.*, 1957, p. L380)。



## ま と め

*Metaplacenticerias subtilistriatum* は浦河地域の U4 層の中部から産出する。本種はカンパニアン階上部を特徴づけるものであり、他地域の産出状況と調和的である。

従って、従来の層序（蟹江，1966）を改め、改訂された地質図を示した。

謝辞 この報告書を作成するにあたり、斎藤 登（静内町こうせい町 2-33）・川下由太郎（三唐市唐松千代田町 2 A1-5）両氏は *Metaplacenticerias* の産出資料を提供して下さいました。松本達郎名誉教授は貴重な助言を下された。

## 引用文献

- ARKELL, W. J., KUMMEL, B. and WRIGHT, C. W. 1957. Systematic descriptions. In MOORE, R. C. ed. *Treatise on Invertebrate Paleontology*: L129-437. Geol. Soc. America & Univ. Kansas Press.
- 坂東祐司・篠原 勇・橋本寿夫 1980. 阿讃山地の和泉層群より産出した上部白亜紀アンモナイトについて. 地質学会関西支部報 (87); 西日本支部報 (71): 12.
- JIMBO, K. 1894. Beiträge zur Kenntnis der Fauna der Kreiderformation von Hokkaido. *Paläont. Abh.*, [N. F.], 2(3): 140-194, Taf. 17-25.
- 蟹江康光 1966. 北海道浦河地方の白亜系. 地質雑, 72(7): 315-328.
- 1981. 北海道浦河地方の白亜紀化石層序. 地質学会第83年学術大会演旨: 135.
- 竹谷陽二郎・宮田雄一郎 1981. 浦河地域の白亜系化石層序について (補足 2). *Cretaceous*, 白亜系の国際対比に関する総合研究連絡誌, (4): 29-32. 仙台.
- MATSUMOTO, T. 1942. Fundamentals in the Cretaceous stratigraphy of Japan. Part I. *Mem. Fac. Sci., Kyushu Imp. Univ.*, [D], 1(3): 129-280, pls. 5-20.
- 1953. The ontogeny of *Metaplacenticerias subtilistriatum* (JIMBO). *Japan Jour. Geol. Geogr.*, 23: 139-150, pl. 13.
- 松本達郎 1981a. *Metaplacenticerias subtilistriatum* 帯 (上部白亜系) について, 地質学会第88年学術大会演旨: 171. 東京.
- 1981b. *Metaplacenticerias subtilistriatum* 帯について. *Cretaceous* (4): 33-36.
- MATSUMOTO, T., HASHIMOTO, H. and FURUICHI, M. 1980. An interesting species of *Baculites* (Ammonoidea) from the Cretaceous Izumi Group of Shikoku. *Proc. Japan Acad.*, [B], 56(7): 408-413.
- , MOROZUMI, Y., BANDO, Y., HASHIMOTO, H. and MATSUOKA, A. 1981. Note on *Pravitoceras sigmoidale* YABE (Cretaceous heteromorpho ammonite). *Trans Proc. Palaeont. Soc. Japan*. [N. S.], (123): 168-178, pls. 22-26.
- 松本達郎・高柳洋吉・米谷盛寿郎 1981. *Metaplacenticerias subtilistriatum* 帯及びその上下から採集した微化石試料. *Cretaceous*, (4): 37-38.
- 高橋功二 1959. 天塩, 安平志内川流域における安川層群 (いわゆる函淵層群) 下底の不整合について, 地質雑, 65(758): 537-544.
- TAKETANI, Y. 1982. Cretaceous radiolarian biostratigraphy of the Urakawa and Obira areas, Hokkaido. *Tohoku Univ., Sci. Rept.*, [2nd], 52(1-2): 1-76, pls. 1-13.